

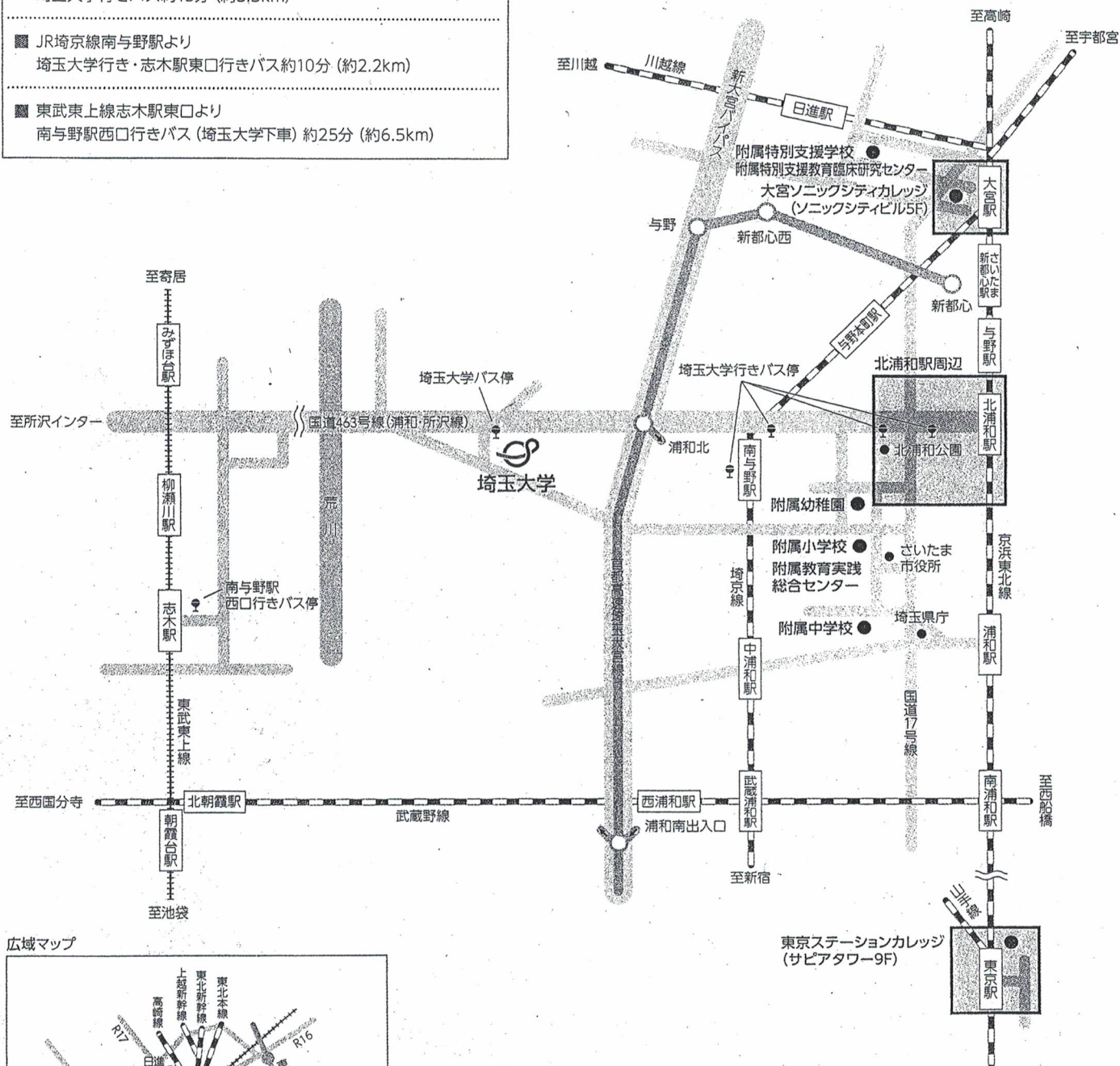
アメリカ教育学会
第 28 回大会プログラム
*Japan Association of American
Educational Studies*

2016 年 10 月 22 日(土)
会場 埼玉大学 教育学部

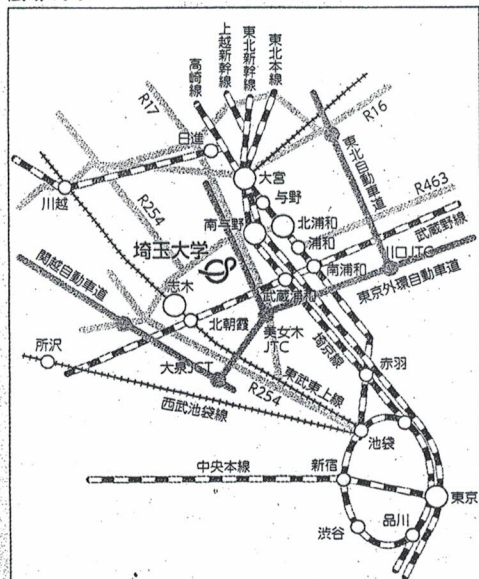
交通案内

埼玉大学への交通案内 (交通機関)

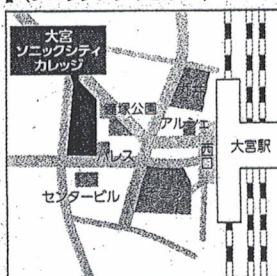
- JR京浜東北線北浦和駅西口より
埼玉大学行きバス約15分 (約3.5km)
- JR埼京線南与野駅より
埼玉大学行き・志木駅東口行きバス約10分 (約2.2km)
- 東武東上線志木駅東口より
南与野駅西口行きバス (埼玉大学下車) 約25分 (約6.5km)



広域マップ



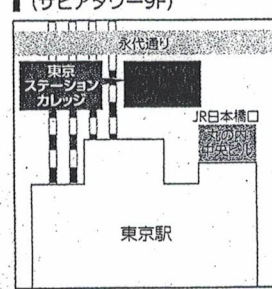
大宮ソニックシティカレッジ
(ソニックシティビル5F)



北浦和駅周辺



東京ステーションカレッジ
(サビアタワー9F)



大会日程・大会参加要領

時間	備考
9:30～	大会受付（教育学部 玄関内）
10:00～12:00	自由研究発表 I（203教室）、II（204教室）、III（211教室）
12:00～13:00	昼食休憩（シンポジウム関係者打ち合わせ 小会議）
13:00～14:10	総会（213教室）
14:10～16:40	公開シンポジウム（213教室）
17:20～19:20	情報交換会（懇親会 バル・メリン）

1 受付

10月22日（土）9:30より教育学部本館の玄関内で行います。

2 学会費

会員で会費未納の方は、年会費（正会員5,000円、学生会員4,000円）を納めてください。大会当日も納入可能です。また当日、新規入会をご希望の方はお申し込みください。

3 大会参加費（『発表要旨集録』代を含む）

3,000円（一律）

4 情報交換会（懇親会）会費

4,000円（一律） バル・メリン（キャンパス内）国立大にしてはちょっと洒落てます。
会員相互の親睦を深めるため、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

5 昼食

学食（第一食堂）お昼のみ営業しています。学会のA棟から南に徒歩5分。

コンビニ・ローソン（大学正門わき）

6 Edu-Spo エデュスポ（オープンスペース）208 2Fは、食事、発表準備にご使用ください。

飲み物の自動販売機あり。

7 理事会

前日の10月21日（金）16:00～18:30 教育学部A棟1階第一会議室
（教育学部A棟玄関に入って右手へ、北側の部屋）にて開催します。

8 お問い合わせ ; itsuroik@mail.saitama-u.ac.jp （池内研究室）

Phone 048-858-3260

自由研究発表

自由研究発表 I 10月22日(土) 10:00~12:00 教育学部 (203 教室)

【司会】加藤幸次(上智大学大学名誉教授)

・10:00-10:25

ニューヨーク市教員評価—テスト政策とのかかわりから—

末藤美津子(東洋学園大学)

・10:25-10:50

Course Evaluation and CRM—FD or Survival Strategy—

Representative of Oklahoma City University, Japan

Yohshimasa Uehara(上原)

・10:50-11:15

ニューヨーク市教員評価—教員サポートの仕組み—

吉野 舞起子(ティーチャーズ・カレッジ エルベンウッド研究所)

・11:15-11:40

道德教育の考察Ⅱ—子どもの幸せにつながる取組み事例—

山田敏子(名古屋学芸大学)

・11:40-12:00 全体討議など

自由研究発表 II 10月22日(土) 10:00~12:00 教育学部 (204 教室)

【司会】杉村美佳(上智短期大学)

・10:00-10:25

「中国語—英語」双方向イマージョン・プログラムの保護者の選択理由

—カリフォルニア州・サンフランシスコ市を事例として—

王小丹(元大阪市立大学大学院・院生)

滝沢潤(広島大学大学院、発表者)

・10:25-10:50

C. W. ウォッシュバーンにおける集团的創造的活動の思想形成

宮野 尚(東京学芸大学大学院)

・10:50-11:15

ホーマーT. レーンとアメリカ進歩主義教育思想の関連性についての一考察

—アメリカン・スロイドの開発経緯に焦点を当てて—

岩田弘志(熊本県阿蘇市立一の宮小学校)

・11:15-11:40

MI理論実践報告例: グローバル人材育成を目指した取り組み

石渡圭子(横浜国立大学)

・11:40-12:00 全体討議など

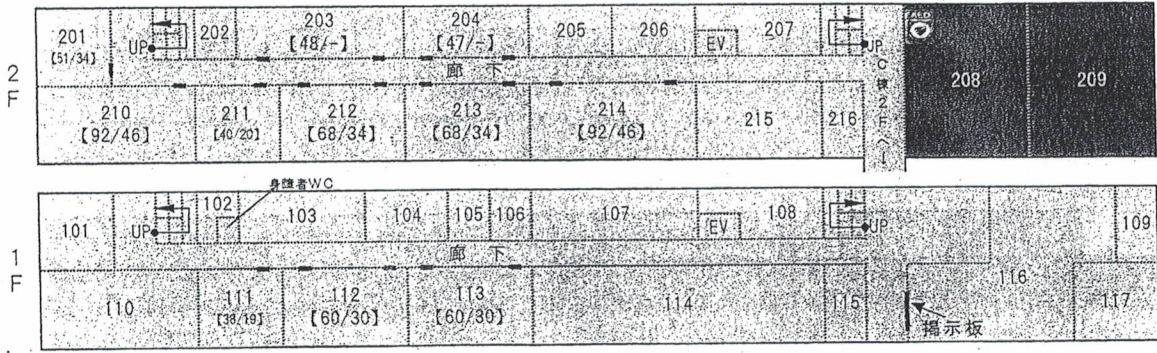
発表時間 発表 20 分・質疑 5 分 (計 25 分)

自由研究発表 III 10 月 22 日 (土) 10:00~12:00 教育学部 (211 教室)

【司会】増田修治 (白梅学園大学)

- ・ 10:00-10:25
バスルーム・ウォー—現状報告: 現代アメリカ・キャンパスのトランスジェンダー問題—
鵜浦 裕 (文京学院大学外国語学部)
- ・ 10:25-10:50
アメリカ合衆国オレゴン州の一小学校における図画工作授業の取組み
- 教師と PTA の連携による授業の活性化 -
小沢基弘 (埼玉大学教育学部)
- ・ 10:50-11:15
20世紀初頭アメリカ・Walden Schoolの実践研究-美術をめぐる日米の視点の相違-
伊東一誉 (東京学芸大学大学院連合学校博士課程)
- ・ 11:15-11:40
アメリカ才能教育におけるRTIモデル活用の意義と課題
関内偉一郎 (筑波大学大学院)
- ・ 11:40-12:00 全体討議など

発表時間 発表 20 分・質疑 5 分 (計 25 分)
発表に必要な資料は、各自 30 部ご用意頂き、大会当日にご持参ください。



※ 男子トイレは、偶数階、女子トイレは、奇数階にあります。

大会受付	1F	A 棟玄関ホール	公開シンポジウム	2F	213 教室
自由研究発表 (1)	2F	203 教室	総会	2F	213 教室
自由研究発表 (2)	2F	204 教室	シンポジウム打ち合わせ室	1F	第一会議室
自由研究発表 (3)	2F	211 教室	理事会	1F	第一会議室
大会本部	1F	第一会議室			

アメリカ教育学会 第28回大会（埼玉大会）公開シンポジウム

アメリカ教育における芸術的思考と認知研究の動向 —美術館・博物館教育から見るアメリカ美術教育の展望—

日時：2016年10月22日（土）14:10～16:40

会場：埼玉大学教育学部A棟（213教室）

本シンポジウムの趣意

本学会では、アメリカ教育学のあらゆる方面より研究がなされている。しかしながら、その教育思潮の中で進歩主義教育、「認知革命」以降、エリオット・アイズナーのDBAE運動、また、ハワード・ガードナーを中心とした、ハーバード・プロジェクト・ゼロは、「美術の教育」に端を発していたことはあまり知られていない。その後、ガードナーは認知的アプローチによる、創造性の研究、MI理論（多重知能理論）を提示した、創造性を育む、芸術的思考、メタファー研究、創造性発達のUの字曲線を考慮した教育が繰り広げられた。

アメリカの美術館は市民の啓蒙を行う「教育的な施設」として始まり、当初石膏像や複製ばかり収蔵していたが、工業化の波に乗った富裕層の寄贈等により「本物の殿堂」と変わっている。その後、戦争や文化的な問い直しを経て、子供だけでなく障害者や高齢者等、あらゆる層をターゲットに鑑賞活動を提供しているのが現在である。当初からドーセントを置き、文化や社会の変化に呼応しながら進化しているのがアメリカの美術館教育という印象である。以下トピックとして：・「本物の殿堂」に対する「カルト オブ オリジナル」という批判が当初から続いている。・第一次世界大戦、第二次世界大戦、ベトナム戦争、ジェンダー、多文化主義等、様々な問い直しの波にさらされてきた。・「美術という概念」の輸入から始まった日本との違いの考察。・石膏像は1900年前後に世界中に散逸するが、今でもその一部を東京藝術大学の石膏室で確認することができる。

また、近年の博物館教育も面白くなっている。ニューメキシコ州サンタフェにあるアメリカン・インディアン美術大学における博物館学（museum studies）は、ネイティブ・アメリカンの文化再生（repatriation）をその使命としている。本報告では、現地調査より、大学設立（1962年）から今日に至るまでの教育内容の変容、および1992年大学美術館設立の経緯について紹介する。現行日本の高等教育政策の課題としてあげられている、地方大学の地域連携への手がかかりとして、博物館教育が貢献できる事例を提示する。

以上のように、インフォーマルな美術教育、博物館教育を俯瞰するが、このような議論の成果として、本学会で幅広い意見を集約することで、美術教育、博物館教育の位置付けを再確認できればと願っている。

提案者：奥村高明（聖徳大学教授・児童学部長
・前文部科学省調査官）

梶原健二（福岡女子短期大学）

池内慈朗（埼玉大学教授）

司会・コーディネーター： 加藤幸次（上智大学名誉教授）

アメリカ教育の多面的展開

アメリカ公立学校の社会史

W.J. リース著 小川佳万・浅沼茂監訳

A5・上製・五二八頁・四六〇〇円

アメリカ学校財政制度の公正化

笠沙知章著

A5・上製・三二八頁・三四〇〇円

アメリカ学校認証評価の現代的展開

浜田博文編著

A5・上製・二〇〇頁・二〇〇〇円

アメリカ多文化的歴史カリキュラム

桐谷正信著

A5・上製・二八八頁・三六〇〇円

現代アメリカ学力形成論の展開

石井英真著

A5・上製・四五六頁・四六〇〇円

アメリカ公民教育におけるサービスラーニング

唐木清志著

A5・上製・三八四頁・四六〇〇円

現代アメリカの教育アセスメント行政の展開

マサチューセッツ州(MCAS)テストを中心に
北野秋男編著

A5・上製・四〇〇頁・四八〇〇円

ハーバード・プロジェクト・ゼロの芸術認知理論とその実践

内なる知性とクリエイティビティを育むH・ガードナーの教育戦略
池内慈朗著

A5・上製・五〇四頁・六五〇〇円

アメリカの才能教育

松村暢隆著

A5・上製・二四〇頁・二五〇〇円

アメリカのバイリンガル教育

新しい社会の構築をめざして
末藤美津子著

A5・上製・二四〇頁・二二〇〇円

アメリカの現代教育改革

スタンダードとアカウントティの光と影
松尾知明著

A5・上製・三六〇頁・二七〇〇円

進歩主義教育―その再考・再構築と批判

アメリカ間違いがまかり通っている時代

公立学校の企業型改革への批判と解決法
D・ラヴィッツ著 末藤美津子訳

A5・上製・五三六頁・三八〇〇円

教育による社会的正義の実現

アメリカの挑戦(一九四五〜一九八〇)
D・ラヴィッツ著 末藤美津子訳

A5・上製・五四四頁・五六〇〇円

学校改革抗争の100年

20世紀アメリカ教育史
D・ラヴィッツ著 末藤美津子・宮本健市郎・佐藤隆之訳

A5・上製・六六四頁・六四〇〇円

社会性概念の構築

アメリカ進歩主義教育の概念史
田中智志著

A5・上製・五三六頁・三八〇〇円

人格形成概念の誕生

近代アメリカの教育概念史
田中智志著

A5・上製・三二五頁・二六〇〇円

アメリカ進歩主義教授理論の形成過程

教育における個性尊重は何を意味してきたか
宮本健市郎著

A5・上製・四一六頁・七〇〇〇円

教育における国家原理と市場原理

「チリ現代教育政策史」に関する研究
斎藤泰雄著

A5・上製・三六〇頁・二八〇〇円

比較教育学事典

日本比較教育学会編
全一〇三六項目 B5・2段組・上製・四五六頁・二二〇〇〇円

現代アメリカ教育ハンドブック

アメリカ教育学会編 B5・並製

アメリカ高等教育と学生支援

トランスナショナル高等教育の国際比較

留学概念の転換
杉本均編著

A5・上製・三二五頁・三六〇〇円

アカデミック・アドバイジング

その専門性と実践―日本の大学へのアメリカの示唆
清水栄子著

A5・上製・二四四頁・二四〇〇円

アメリカ大学管理運営職の養成

高野篤子著

A5・上製・二六四頁・二二〇〇円

スタンフォード21世紀を創る大学

アメリカ連邦政府による
ホーン川嶋瑤子著

A5・並製・三四四頁・二五〇〇円

大学教育とジェンダー

ジェンダーはアメリカの大学をどう変革したか
ホーン川嶋瑤子著

A5・上製・三三六頁・三六〇〇円

アメリカの研究大学・大学院

大学と社会の社会的学的研究
矢澤修次郎・伊藤毅編著

A5・上製・二四四頁・二五〇〇円

現代アメリカのコミュニティ・カレッジ

その実像と変革の軌跡
宇佐美忠雄著

四六・上製・二四〇頁・二三八一円

アメリカの大学基準成立史研究

「アカレディテーション」の原点と展開
前田早苗著

A5・上製・二四〇頁・三八〇〇円

社会を創る市民の教育

協働によるシティズンシップ教育の実践
大友秀明・桐谷正信編著

A5・並製

カナダの女性政策と大学

犬塚典子著 A5・上製

アメリカ教育学会 第28回大会プログラム

2016年9月20日発行

発行者 アメリカ教育学会 第28回大会準備委員会

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 225 埼玉大学教育学部

池内研究室

池内慈朗

Phone & Fax 048 - 858 - 3260 E-mail: itsuroik@mail.saitama-u.ac.jp